

第3期 鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)の 策定にあたって

「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」が、平成17年に第1期計画として策定され11年。今回、平成28年度から5年間を計画期間とする第3期計画を策定しました。

第2期計画の6年の間には、高齢化の進行、孤立化や虐待の問題、そして東日本大震災の発生などがあり、私たちを取り巻く環境は大きく変化してきました。同時に、人と人とのつながりの大切さを改めて考えさせられた期間でもあったかと思えます。

鶴見区では、各地域や団体で様々な工夫を行い、地域の福祉保健活動を通じて、新たなつながりを生み出みだすことを進めてきました。私自身、第1期の策定から委員として関わっていますが、「あいねっと」が開始した頃と比べると、地域での福祉保健活動は、確実に広がりを見せてきていると感じています。

今回の計画づくりは、市の計画が策定されたあと、平成26年度・27年度の2年間にわたり進めてきました。区内の福祉保健活動に携わっている方々に参画いただいた検討会で議論を重ねるとともに、各地区ではアンケートや話し合いなどそれぞれの地区にあったやり方で、お住まいの方々が日頃生活している中で気になることを把握し、それを踏まえて地区の目標を設定しました。

こうして取りまとめた今回の計画は、これまでの考えを継承しながらも、健康寿命を延ばす取組の充実が更に求められていることを踏まえ、新たに「健やかに暮らせる地域づくり」という推進の柱を設定しました。これまで積み重ねてきた活動の中で見えてきたところに、もう一步具体的に踏み込んで前進していこうという思いやアイデアが詰められています。

目標は、地区に関わる皆様の中で共有することが大切です。日頃の活動は別々でも、住む地域をよりよくしていこうという同じゴールに向かっていく仲間であることを、「あいねっと」という合言葉を使って感じて進めてもらいたいです。

第3期計画最後の年は、東京オリンピックの開催が予定されています。オリンピックのころに鶴見が誰もが安心して健やかに暮らせるまちとなるように、「あいねっと」という大きな傘のもと、福祉保健活動が一層発展されることを願っています。

そのためには、より多くの区民の皆様の力が求められます。自治会町内会活動への積極的な参加やご近所同士の挨拶や声かけなど、自分のできることから、一人一人が踏み出し取り組んでいくことを期待します。

最後に、計画策定にあたり、多くの皆様から御協力いただきましたことを、心からお礼申し上げます。

第3期鶴見・あいねっと策定検討会 委員長 小山 和雄

鶴見区では、平成17年に第1期計画として「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」を策定し、区民の皆様とともに地域の福祉保健の取組を進めてきました。この度、第2期計画の終了を受け、平成28年度から32年度までを計画期間とする第3期計画を新たに策定しました。

これからの5年間は「2025年問題」として言われるように、後期高齢者の急増、単身世帯の増加など鶴見区においても、地域社会を取り巻く状況は大きく変化し、支援を必要とする人がますます増えていくことが予想されます。鶴見区は、地域活動が盛んで様々な取組が行われていますが、新たに鶴見区にお住まいになる方も非常に多く、身近な地域の支えあいやつながりづくりが特に求められています。

第3期計画では、「あいねっと」の語源でもある、「たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク」を基本理念に掲げ、地域の福祉保健活動を通じてつながりを強め、誰もが安心して健やかに暮らすことのできるまちを目指していきます。

本計画の実現に向けて、区民の皆様、関係機関、事業者の皆様と行政が協働していくことが不可欠です。引き続き、御支援、御協力をお願いいたします。

本計画の策定にあたりましては、第3期鶴見・あいねっと策定検討会の皆様と熱心に御議論いただくとともに、区民アンケート、意見募集、地区懇談会などを通じて区民の皆様をはじめ、関係者の皆様から多くの貴重な御意見・御提案をいただきました。心から感謝申し上げます。

鶴見区長 征矢 雅和

平成17年に第1期計画として「鶴見・あいねっと(鶴見区地域福祉保健計画)」が策定されてから11年。第2期計画の終了を受け、このたび新たに第3期計画を策定しました。

第2期計画の6年の間には、高齢化の進行、孤立化の問題、そして東日本大震災の発生など、私たちを取り巻く環境は大きく変化してきました。同時に、人と人の繋がりだけでなく、生活しやすい環境整備のための、各種活動団体や関係機関の連携の必要性について改めて考えさせられた期間でもあったかと思えます。

鶴見区では、「たすけあい・支えあい・人と人のネットワーク」を基本理念として、各地区や団体が、身近なところからの地域福祉保健活動という「種」をまいていくことで、だんだんつながりが密になり、誰もが住みやすいまちづくりに近づいてきているのではないかと感じております。

本計画は、地域、各種団体や地域ケアプラザをはじめとする関係機関、区、社会福祉協議会が協働して地域の課題解決に取り組むための具体的事業を示したものとなっております。

本会も、社会福祉協議会としての使命を果たすべく、人と人がつながり支え合う地域づくりに取り組んで参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びになりましたが、策定にあたり、熱心に御審議いただきました策定検討会の委員の皆様、貴重な御意見、御提言をいただきました地域の皆様、関係機関の皆様と心からお礼と感謝を申し上げまして、あいさつとさせていただきます。

社会福祉法人 鶴見区社会福祉協議会 会長 佐藤 信男